

## 首里城再建の要、搬入路を造成

テラグリッド

### 沖縄・首里城公園

1992年の正殿の再建以来、かつての琉球王国をしのばせる沖縄のシンボルとして親しまれてきた首里城。2019年2月に首里城公園はようやく園内全ての整備が終了しました。これが突然の大火災に見舞われたのは同年10月31日未明のこと。正殿など7棟の再建建造物のほか多くの収蔵展示品も焼失し、沖縄県民はもとより日本国民皆が悲しみに打ちひしがれました。

しかしすぐに再建に向けたアクションが各方面から立ち上がり、2022年11月には正殿の工事が着手されるなど園内各箇所での復興が加速しています。



この工事において、正殿など焼失建造物が集中する中心の広場「御庭」のレベルまで工事車両と資材を導入するための仮設道路の補強盛土工法として採用されたのが、岡三リビ

ック納入の「テラグリッド」です。

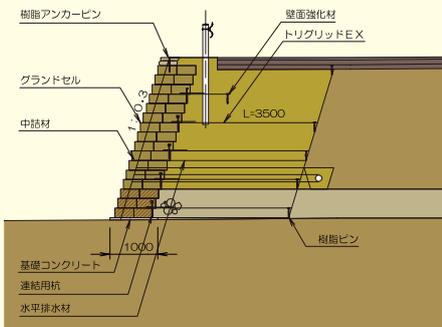
テラグリッドは、耐候性に優れた高密度ポリエチレン樹脂製土留め材「グラウンドセル」と、樹脂複合材を格子状に成形した盛土・地盤補強用ジオグリッド「トリグリッドEX」を組み合わせたもの。壁面の構築に根入れが不要なため、本工事のように既設管理道路上に仮設で構築するケースで非常に有用です。

また、部材が軽量で作業も簡便、締固めの層厚管理も容易であるなど、大型重機等を使用することなしに迅速な施工を可能にします。

正殿の再建に向けては、県産材ははじめ多方面から調達する木材や6万枚に及ぶ赤瓦などの準備が進められており、そうした材料の搬入路としてこの仮設道路が貢献することはたいへん名誉なことと思います。

### 工事概要

施主：沖縄総合事務局  
 国営沖縄記念公園事務所  
 工事名：令和元年度園路広場整備他工事  
 施工会社：有限会社西原農園  
 商品名：グラウンドセル 壁面積 158m<sup>2</sup>  
 トリグリッドEX 900m<sup>2</sup>



天下泰平の礎を築いた家康公とその歴史に思いを馳せながら、静岡の景色を眺められる久能山東照宮。大河ドラマのゆかりの地をぜひ訪れてみてください。もちろん一五九段の石段を登り切った先にある感動に期待をして、迷わず表参道から。筋肉痛になることを覚悟して……

オススメは海側の表参道。その石段は一五九段あり、地元では「いちいちごころうさん」と呼ばれています。一九五七年に「日本平ロープウェイ」が開通するまでは、この表参道が唯一の参拝路だったことを思うと、人々を寄せ付けない聖域だったことが伺えます。段差もバラバラでキツイ石段を登り切ると一ノ門に到着し、その入り口からはご褒美として駿河湾が一望できます。そしてそこから境内を進み、国宝でもある御社殿の更に奥に進むこと約四十段。やっと家康公の御神廟（墓所）へと到着します。

現在NHKで放送中の大河ドラマ「どうする家康」は徳川家康の生涯を描いていますが、彼は駿府城で生涯を終え、遺言に従い御遺体は静岡市駿河区の「久能山東照宮」に埋葬されました。久能山東照宮は全国で最初に創建された東照宮であり、家康公の愛した駿河湾の景色が見渡せる場所にあります。参拝には表参道を歩く方法と、ロープウェイで行く方法があります。

久能山東照宮 絶景への二五九段  
 静岡営業所 堀裕佳里



岡三リビック  
 商品群

道路・盛土 多数アンカー式補強土壁工法 トリグリッドEX バラリンク フラットパネル RRR工法 EDO-EPS工法  
 ダイブラハウエル管 法面・防災 多機能フィルター ミニアンカーDO PDR工法 サビレス100  
 維持・管理 ARISライナー工法 SWライナー工法 RCGインナーシールα工法 Tn-p工法 ローマットHDB  
 鉄鋼建材 ライナープレート コルゲートパイプ 景観・環境 ロッキーステージ 斜面いりどり工法 フォトリックアート

## 初開催の地で管更生をアピール 下水道展'23札幌

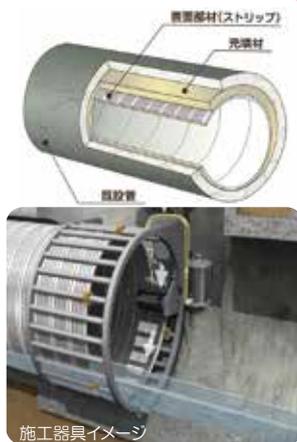
去る8月1~4日、北海道・札幌ドームにて、下水道の構築、維持管理から更生まで下水道に関連する様々なサービスや工法を一堂に集めた展示会「下水道展'23札幌」が開催されました。東京より北での開催は今回

が初とあって、300近い出展各社各団体とも力の入った内容で会場を賑わせていました。

岡三リビングでは現場条件に応じて最適なご提案が可能な管更生工法を取り揃えており、この展示会でも

「SWライナー工法」及び「J-TEX工法」両協会会員としてのブース出展のほか、日本管更生技術協会（JPR）の展示へも参画するなど多角的にアピール。それぞれに多くの方々のご訪問を頂きました。

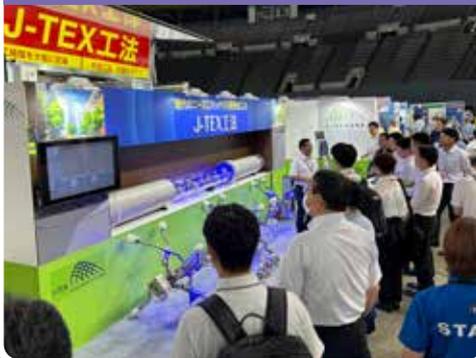
### SWライナー工法



帯状の硬質塩化ビニル部材（ストリップ）を管路内で螺旋状に製管しながら更生管を形成します。ストリップかん合用の機具以外に特殊な機器は不要で、迅速かつ容易に管更生工事を進めることができます。

ストリップ材はオス・メス形状のかん合構造を採用し、製管時にかん合部に接着剤を塗布しながらスパイラル状に接合していくため、水密性の高い更生管が生成されていきます。屈曲部でもかん合部の外れがなく、耐震性試験でレベル2の地震動相当をクリア、また既設管との隙間は充填材が注入されるため、既設管と一体となった強固な管きよを形成します。

### J-TEX工法



ガラス繊維製不織布に光硬化性樹脂を含浸した「SORS Liner」を用いる、紫外線照射による管更生工法です。マンホールから既設管内にSORS Linerを引込み送風機によってその内部を拡張した後に光照射装置「UVチェーン」を挿入し、管を形成していきます。

その施工は管径φ300mm×延長L30mの条件でわずか4時間程度と超スピーディ。UVチェーンにはカメラが装着されているため、常に高い品質を保持した仕上がりを実現します。また施工車両1台に施工機材と発電機及び材料等一式を積載できるため、経費縮減や作業員負担の軽減にも貢献します。

ハイムはメタボリズムからさらに踏み込み、ユニット再生やモデルハウスの移築販売など、容易に分解可能であることを活かしたエコなサービスも後に展開。世界的に見てもここまで商業的に成立した工業化住宅は稀だという。

ただ、最近販売している商品はユニット構造であることを極力消したデザインが多いようだ。私などはいかにもユニットですと明快に主張している最初のスタイルが恋しいのだけれど。

一方、より現実的な形で当時の住宅市場に登場したのが「セキスイハイム」という名の、一件の戸建てを複数の箱ユニットで構成する工業化住宅だった。一九七〇年に開催された住宅産業の展覧会で、積水化学工業社のブースだけ開催日が迫っても基礎があるだけ。そこに突然トラックが数台やってきてあつという間に上棟し他社の度肝を抜くという衝撃デビューを飾った。施工工程の丸割が工場というハイムは手頃な価格もあってすぐに人気を獲得した。

昨年、東京・銀座からひとつの名建築が消えた。「中銀カプセルタワー」という、ユニット構造により建物の拡張や改築を容易にする「メタボリズム思想」を体現したワンルームマンション（黒川紀章設計・一九七二年竣工）だったが、残念なことには拡張や改築のないままに老朽化で解体となった。



記：編集T



岡三リビング株式会社

東京都港区港南1-8-27 日新ビル ☎03-5782-9080



札幌・盛岡・仙台・高崎・東京・新潟・金沢・長野  
静岡・名古屋・大阪・米子・広島・高松・松山・福岡  
鹿児島・沖縄リビング・岡三リビングベトナム